

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	杉山博一
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3335
事務事業名	4110 健康診査事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費					
	事業	040000 健康診査事業					
事業目的				事業概要・効果			
後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。				後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。 ・後期高齢者健診：75歳以上の市民に対し、個別・集団で実施。 ・各種がん検診：対象年齢の市民に対し主に集団で実施 ・乳がん超音波検診や肺がんCT検診を導入するなど、精度の高い検診を行うことにより、早期発見、早期治療に繋げることができる。 ・市民が受診しやすいよう、胃検診・大腸がん検診は地域を巡回して実施している。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
後期高齢者健診の実施 がん検診：がん発見者数 胃5人、大腸9人、乳房2人、マンモグラフィ2人、肺2人、前立腺4人	後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施 胃内視鏡検診の導入について検討を進める。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	胃がん検診の受診率				
算式	胃がん検診受診者数÷胃がん検診受診対象者×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	40			
	実績				
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である40%とする				
指標名	大腸がん検診の受診率				
算式	大腸がん検診受診者数÷大腸がん検診受診対象者×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	40			
	実績				
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である40%とする				
指標名	肺がん検診の受診率				
算式	肺がん検診受診者数÷肺がん検診受診対象者×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	40			
	実績				
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である40%とする				

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		93,464	99,952
特定財源	国庫支出金	530	534
	都道府県支出金	4,457	4,606
	地方債	0	0
	その他	5,437	23,530
一般財源		83,040	71,282
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.5	0.5
人員コスト	正規職員	5,766.4	5,766.4
	嘱託職員	811.5	811.5
	臨時職員	515.0	515.0
	計	7,092.9	7,092.9
市民一人当たりの経費		1.9	2.0
総額		100,556.9	107,044.9

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	930	消耗品費137、食糧費8、印刷製本費785
13節 委託費	81,179	電算委託料1,757、その他委託料79,422
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,523	負担金568、補助金5,955
その他	4,832	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,049	消耗品費140、食糧費9、印刷製本費900
13節 委託費	86,709	電算委託料1,753、その他委託料84,956
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,177	負担金577、補助金6,600
その他	5,017	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の生命・健康を守るために必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民の生命・健康を守るために有効 受診率は目標に達していない	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率的に実施している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
健診・検診に受診率向上に向けた取り組みが必要

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
胃検診の内視鏡健診の導入について、須高医師会と須坂病院に協力を得て検討していく。		悪性新生物に係る、医療費や死亡が増加する中で、検診未経験者へのアプローチを工夫し、早期発見・早期治療に結びつける。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	